

重症皮膚潰瘍管理加算の施設基準に係る届出書添付書類

1 標榜診療科	
2 重症皮膚潰瘍管理を担当する医師氏名	

褥瘡対策の実施状況	
①褥瘡対策チームの設置状況等	
従事者	専任医師名
	専任看護職員名
活動状況（施設内での指導状況等）	
②褥瘡に関する危険因子の評価の実施状況 （日常生活の自立度が低い入院患者対象）	

[記載上の注意]

- 1 「1」の標榜診療科は、皮膚泌尿器科若しくは皮膚科又は形成外科のいずれかであること。
- 2 褥瘡対策については届出前1か月の状況を記載すること。

緩和ケア診療加算の施設基準に係る届出書添付書類

	氏 名	専従・専任
① 身体症状の緩和を担当する常勤医師		
② 精神症状の緩和を担当する常勤医師		
③ 経験を有する専従の常勤看護師		X

[記載上の注意]

- 1 ①及び②に掲げる従事者の経験が確認できる文書を添付すること。
- 2 ③に掲げる従事者の経験及び研修を修了していることが確認できる文書を添付すること。
- 3 緩和ケアチームが当該医療機関において組織上明確な位置づけにあることが確認できる文書を添付すること。
- 4 財団法人日本医療機能評価機構等が行う医療機能評価を受けていることが確認できる文書を添付すること。

精神科応急入院施設管理加算の施設基準に係る届出書添付書類

応急入院に係る精神保健指定医	日勤	名	当直	名	その他	名
応急入院に係る看護師	日勤	名	準夜勤	名	深夜勤	名
応急入院患者等のための病床	常時	床				
当該管理のために必要な設備（機器等）の一覧（製品名及び台数）						
コンピューター断層撮影装置						
脳波計						
酸素吸入装置						
吸引装置						
血液検査のための機器・器具						
その他						

【記載上の注意】

- 1 精神保健福祉法第33条の4第1項に基づく都道府県知事による応急入院指定病院の指定通知の写しを添付すること。
- 2 当該届出に係る病棟ごとに様式3の3を記載し添付すること。
- 3 入院基本料の届出書の写しを添付すること。

様式 21

精神病棟入院時医学管理加算の施設基準に係る届出書添付書類

医師の数	(1) 現員数	名
	(2) 医療法における標準の医師数	名

		病 棟 数		病 床 数	
届出に係る病棟		病棟		床	
病院の全病棟	病棟	一般病棟	病棟	床	
	の	療養病棟	病棟	床	
	種	結核病棟	病棟	床	
	別	精神病棟	病棟	床	

[記載上の注意]

- 1 「病院の全病棟」には病棟種別に○をつけ病棟数、病床数を記入すること。
- 2 平成7年9月27日健医発第1321号厚生省保健医療局長通知に定められた精神科救急医療施設であることを示す書類を添付すること。

児童・思春期精神科入院医療管理加算の施設基準に係る届出書添付書類

病棟名				備考	
入院基本料区分				1日平均 入院患者数 算出期間	
病床数			床 床 床		
入院患者の 状況	① 1日平均入院患者数	名	名	名	年 月 日 ～ 年 月 日
	② ①のうち当該加算の 算定対象となる患者	名	名	名	
	入院患者の比率 (②/①)	%	%	%	
当該 勤務 者	常勤医師	名	名	名	
	うち精神保健指定医	名	名	名	
	精神保健福祉士	名	名	名	
	臨床心理技術者	名	名	名	
患者と看護師との比率		: 1	: 1	: 1	

[記載上の注意]

- 1 届出に係る病棟ごとに記入すること。
- 2 当該届出に係る病棟ごとに様式3の3を記載し添付すること
- 3 学習室が設けられていることが確認できる当該施設の平面図を添付すること。

様式23

がん診療連携拠点病院加算の施設基準に係る届出書添付書類

医療機関名	
指定年月日	年 月 日

[記載上の注意]

平成18年2月1日健発第0201004号厚生労働省健康局長通知に定められたがん診療連携拠点病院であることを示す書類を添付すること。

様式24

栄養管理実施加算の施設基準に係る届出書添付書類

栄養管理を担当する 常勤管理栄養士	名
----------------------	---

管理栄養士氏名

医療安全対策加算の施設基準に係る届出書添付書類

	氏 名	勤務時間	所属部署名
専従の医療安全管理者			

	氏 名	専従・専任	職 種
院内感染管理者			

[記載上の注意]

- 1 専従の医療安全管理者が、医療安全対策に係る適切な研修を修了していることが確認できる文書を添付すること。
- 2 専従する医療安全管理者を2人以上配置する場合は、それぞれについて必要事項を記載すること。
- 3 安全管理部門の設置及び組織上の位置付けが確認できる文書を添付すること。
- 4 安全管理部門の業務指針及び医療安全管理者の業務内容が明記された文書を添付すること。

褥瘡患者管理加算の施設基準に係る届出書添付書類

1. 褥瘡対策チームの設置状況等		
従事者	専任医師名	
	専任看護職員名	
活動状況 (施設内での指導状況等)		
2. 褥瘡患者管理の実施状況		
① 専任の褥瘡看護に関して5年以上の経験を有する看護師氏名		
② 褥瘡に関する危険因子の評価を実施した患者数		
③ ②のうち、褥瘡に関する危険因子を有す、或いは既に褥瘡を有していた患者数		
④ 褥瘡に関する診療計画を作成した患者数		
⑤ 褥瘡に関する診療計画を実施・評価した患者数		
3. 体圧分散マットレス等に関する体制の整備状況		

【記載上の注意】

届出前1か月の実績、状況を記載すること。

褥瘡ハイリスク患者ケア加算の施設基準に係る届出書添付書類

	氏 名	勤 務 時 間	所属部署・診療科等
専従の褥瘡管理者			

[記載上の注意]

- 1 専従の褥瘡管理者の経験及び褥瘡等創傷ケアに係る専門の研修を修了したことが確認できる文書を添付すること。
- 2 褥瘡ハイリスク患者ケアに従事する専従の褥瘡管理者を2人以上配置する場合は、それぞれについて必要事項を記載すること。
- 3 褥瘡管理者が組織上明確な位置づけにあることが確認できる文書を添付すること。
- 4 褥瘡管理者の業務指針及び活動内容が明記された文書を添付すること。

様式28

ハイリスク分娩管理加算の施設基準に係る届出書添付書類

年間分娩件数	件
--------	---

[記載上の注意]

年間分娩件数は、前年1年間（1月～12月）に行われた分娩件数であり、院内に掲示した分娩件数と同じ数字を用いること。

〔 〕 の施設基準に係る届出書添付書類

当該治療室 の従事者	専 任 医 師		日勤	名	当直	名	その他	名
	当該病院に勤務する麻酔医		名					
当該治療室 の概要	病床面積	病床数	1床当たり	床面積	1日平均取扱患者数			
	平方メートル	床		平方メートル		名		
ハイクリーンルームの概要、機器の名称・形式、空気清浄度等								
当該治療室に常時設置されている装置・器具の名称・台数等 (*は当該病院内に設置されているもの)								
救急蘇生装置								
除細動器								
ペースメーカー								
心電計								
ホータブ/ルックス線撮影装置								
呼吸循環監視装置								
人工呼吸装置								
新生児用人工換気装置								
経皮的酸素分圧監視装置又は経皮的動脈血酸素飽和度測定装置								
酸素濃度測定装置								
光線療法器								
微量輸液装置								
熱傷用空気流動ベッド								
分娩監視装置								
超音波診断装置								
心電図モニター装置								
*自家発電装置								
*電解質定量検査装置 (設置場所:)								
*血液ガス分析装置 (設置場所:)								
救命救急センターに係る事項 (該当するものに○をすること。複数該当の場合はいずれにも○をすること。)								
1 高度救命救急センターである。								
2 充実段階がAである。								
3 新規開設のため、充実度評価を受けていない。								

〔記載上の注意〕

- 〔 〕 内には、届出事項の名称 (救命救急センター、特定集中治療室、新生児特定集中治療室、総合周産期特定集中治療室、広範囲熱傷特定集中治療室及び新生児入院医療管理加算のいずれか) を記入すること。
- 当該施設基準に係る項目については必ず記載すること。
- 救命救急センターにおいては、特定集中治療に係る部分について括弧書きで再掲すること。
- 総合周産期特定集中治療室においては、母胎・胎児集中治療室と新生児集中治療室を別葉とすること。

様式 29 の 2

特定集中治療室管理料に関する患者の重症度に係る届出書添付書類

治 療 室 名			備 考
病 床 数		床	入室患者延べ数の算出期間 年 月 日 ～ 年 月 日
入室患者の状況	① 入室患者延べ数	名	
	② ①のうち重症者等の延べ数	名	
	重症者等の割合 (②/①)	%	

【記載上の注意】

- 1 届出に係る治療室ごとに作成すること。
- 2 入室患者延べ数とは、算出期間中に特定集中治療室管理料を算定している延べ患者数をいう。
- 3 重症者等とは、別紙 9 の「重症度に係る評価票」を用いて評価を行い、モニタリング及び処置等に係る得点が「3 点以上」、または患者の状況等に係る得点が「5 点以下」である患者をいう。

様式30

ハイケアユニット入院医療管理料の施設基準に係る届出書添付書類

一般病棟の平均在院日数 (≤ 17 日であること)	(算出期間 年 月 日～ 年 月 日)
当該治療室の病床数	床
当該治療室の入院患者の状況	入室患者延べ数の算出期間 年 月 日～ 年 月 日
入室患者延べ数 ①	名
①のうち重症度・看護必要度の基準を満たす延べ数 ②	名
重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合 ②/①	%
当該治療室の看護師数	名
当該治療室の勤務体制	日 勤 名 準夜勤 名 深夜勤 名
当該治療室に常設されている装置・器具の名称・台数等	
救急蘇生装置	
除細動器	
心電計	
呼吸循環監視装置	

[記載上の注意]

- 1 届出に係る治療室ごとに記入すること。
- 2 入室患者延べ数とは、算出期間中にハイケアユニット入院医療管理料を算定している延べ患者数をいう。
- 3 重症度・看護必要度の基準を満たす患者とは、別紙10の「重症度・看護必要度に係る評価票」を用いて評価を行い、モニタリング及び処置等に係る得点が「3点以上」、又は患者の状況等に係る得点が「7点以上」である患者をいう。
- 4 診療録管理体制加算の施設基準に係る届出添付書類の写しを添付すること。

様式31

脳卒中ケアユニット入院医療管理料の施設基準に係る届出書添付書類

当該治療室の病床数								
当該治療室の入院患者の状況		年	月	日	～	年	月	日
入院患者延べ数①								
①のうち脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の患者数②								
脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の患者の割合 (②/①)								
当該治療室の従事者	看護師	日勤	名	準夜勤	名	深夜勤	名	
	理学療法士 又は 作業療法士							名
当該治療室に常設されている装置・器具の名称・台数等								
救急蘇生装置								
除細動器								
心電計								
呼吸循環監視装置								
当該医療機関に常設されているCT、MRI、脳血管造影装置の名称・台数等								
CT								
MRI								
脳血管造影装置								
当医療機関におけるリハビリテーションの施設基準		脳血管疾患等リハビリテーション (I ・ II)						

[記載上の注意]

- 1 届出に係る治療室ごとに記入すること。
- 2 入室患者延べ数とは、算出期間中に脳卒中ケアユニット入院医療管理料を算定している延べ患者数をいう。
- 3 脳血管疾患等リハビリテーション料(I)又は(II)の届出書の写しを添付すること。

様式32

一類感染症患者入院医療管理料の施設基準に係る届出書添付書類

1日平均入院患者数			平均数算出期間		
			年 月 日	～	年 月 日
看護師	常	専従		非	専従
	勤	非専従		常	非専従

[記載上の注意]

- 1 「看護師」欄には、患者発生時に担当予定の者の氏名を記入すること。
- 2 感染症法第6条第12項に規定する特定感染症指定医療機関又は同法第6条第13項に規定する第一種感染症指定医療機関であることがわかる書類を添付すること。

特殊疾患入院医療管理料の施設基準に係る届出書添付書類

病棟 の 状 況	病棟名 及び病室名(番号)					備考 1日平均 入院患者数 算出期間 年 月 日 ～ 年 月 日
	入院基本料区分					
	病床数		床	床	床	
	1日平均入院患者数 ①		名	名	名	
当 該 病 室 の 入 院 患 者 の 状 況	1日平均入院患者数 ②		名	名	名	
	② の 再 掲	脊髄損傷等	名	名	名	
		重度意識障害	名	名	名	
		筋ジストロフィー	名	名	名	
		神経難病	名	名	名	
		小計 ③	名	名	名	
	特殊疾患の割合 ③/②		%	%	%	

[記載上の注意]

- 1 届出に係る病室ごとに記入すること。
- 2 当該届出病室を含む病棟ごとに様式3の3を記載し添付すること。

小児入院医療管理料〔 〕の施設基準に係る届出書添付書類

1 標榜診療科
2 小児科を担当する常勤医師の氏名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

[記載上の注意]

- 1 「2」の常勤医師の経歴（小児科担当の経験、勤務状況等がわかるもの）を添付すること。
- 2 小児入院医療管理料3の届出に係る結核病棟又は精神病棟については、当該病棟において、1日に看護を行う看護職員の数は、常時、当該病棟の入院患者の数が15又はその端数を増すごとに1に相当する数以上であり、看護職員の最小必要数の4割以上が看護師であることが確認できる、入院基本料の届出の写しを添付すること。

小児入院医療管理料 2 の施設基準に係る届出書添付書類

	病棟数	病床区分	病床数	入院患者数		平均在院日数
				届出時	1日平均入院患者数	
病棟及び平均在院日数・入院患者数	当該病棟	小児入院医療管理病室	床	名	名	日
		一般病床	床	名	名	
		小計	床	名	名	
	その他の病棟	一般病棟	床	名	名	
	合計	一般病棟	合計	床	合計	合計

* 1日平均入院患者数の算出期間 年 月 日 ~ 年 月 日
 * 平均在院日数の算出期間 年 月 日 ~ 年 月 日

[記載上の注意]

- 1 一般病床とは、小児入院医療管理料を算定する病室を有する一般病棟における小児入院医療管理料を算定する病室以外の病床をいう。
- 2 「平均在院日数」の欄には、小児入院医療管理料に係る病室を含む病棟と他の一般病棟とを包括した平均在院日数を記載すること。
- 3 「合計」の欄には、小児入院医療管理料を算定する病床、一般病床及び一般病棟の病床数、入院患者数の合計を記載すること。
- 4 当該届出に係る病棟及び入院基本料届出について、それぞれ様式3の3を記載し添付すること。

様式 34 の 3

小児入院医療管理料における加算の施設基準に係る届出書添付書類

区分	病棟名	保育士名	プレイルーム面積 (㎡)

[記載上の注意]

- 1 プレイルームの面積については、内法による測定での面積を記載すること。
- 2 当該加算の対象となるプレイルームのある病棟の配置図及び平面図を添付すること。
- 3 プレイルーム内にある遊具及び玩具のリストを添付すること。

回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準に係る届出書添付書類

		1日平均入院患者数	平均数算出期間
入院患者の構成	当該病棟の入院患者総数 ①	名	
	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症等の発症又は手術後2か月以内（再掲） ②	名	年 月 日 ～ 年 月 日
	上記のうち、高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷に該当する場合	名	年 月 日 ～ 年 月 日
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症又は手術後等2か月以内（再掲） ③	名	年 月 日 ～ 年 月 日
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2か月以内（再掲） ④	名	年 月 日 ～ 年 月 日
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後1か月以内（再掲） ⑤	名	年 月 日 ～ 年 月 日
	②～⑤に準ずるもの（再掲） ⑥	名	
	小計（②+③+④+⑤+⑥） ⑦	名	
入院患者の比率 ⑦/①	%		
専従・常勤従業者	職 種	氏 名	
	医 師	・	
	理学療法士	・ ・	
	作業療法士	・	
病棟の面積	平方メートル	（1床当たり面積	平方メートル）
病室部分の面積	平方メートル	（1床当たり面積	平方メートル）
病室に隣接する廊下幅	メートル		

[記載上の注意]

- 1 病室部分の1床当たりの面積は、1床当たり面積が最小の室についての値を記入すること。
- 2 当該届出に係る病棟について、様式3の3を記載し添付すること。
- 3 入院基本料の届出書の写しを添付すること。
- 4 心大血管疾患リハビリテーション料(I)、脳血管疾患等リハビリテーション料(I)又は(II)、運動器リハビリテーション料(I)、呼吸器リハビリテーション料(I)の届出書の写しを添付すること。
- 5 当該病棟の配置図及び平面図を添付すること。

亜急性期入院医療管理料の施設基準に係る届出書添付書類

一般病床の状況	当該入院医療管理病床届出病棟	病棟数		棟	棟		
		病床数	当該入院医療管理病床数及び病室番号 ()		床号室) ()	床号室)	
			一般病床数 ① (上記を含む)		床	床	
	その他の一般病棟	病棟数			棟		
		病床数 ②			床		
一般病床合計 ①+②					床		
当該病棟専任の在宅復帰支援担当者氏名				(専任となった年月 年 月)	(専任となった年月 年 月)		
当該病棟・入院医療管理届出病床の状況	当該入院医療管理病室部分の面積		(1床当たり面積 m ²)	m ²	(1床当たり面積 m ²)	m ²	
	当該病棟の1日平均入院患者数		名		名		
	当該入院医療管理届出病床の退室患者数 ③ (死亡退院を除く)					名	
	当該入院医療管理届出病床の在宅等への退院患者数 ④ (③の再掲)					名	
	内訳	居宅					名
		介護老人保健施設					名
		介護老人福祉施設					名
		その他 (転室、転棟及び転院を除く。)					名
在宅等へ退出した患者の割合④/③					%		
1日平均入院患者数・在宅等への退院患者数の算出期間			年 月 日～	年 月 日			

[記載上の注意]

- 1 届出に係る病棟ごとに記入すること。
- 2 届出に係る病棟ごとに様式3の3を記載し添付すること。
- 3 診療録管理体制加算及び各疾患別リハビリテーション料(I)又は(II)の届出書の写しを添付すること。
- 4 当該入院医療管理病床の配置図及び平面図(面積等がわかるもの)を添付すること。

様式36の2

亜急性期入院医療管理料の施設基準届出に係る退室患者の退室先一覧

※退室先番号 ①転室・転棟・転院 ②居宅 ③介護老人保健施設 ④介護老人福祉施設 ⑤その他

No	入室期間	退室先番号
1	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
2	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
3	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
4	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
5	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
6	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
7	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
8	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
9	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
10	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
11	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
12	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
13	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
14	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
15	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
・	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
・	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	
・	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	

[記載上の注意]

患者番号と患者が確認できるように整理しておくこと。

特殊疾患療養病棟入院料1及び2の施設基準に係る届出書添付書類

		病棟数	病床数	1日平均入院患者数	備 考	
病棟・病床及び入院患者数	総 病 棟	病棟	床	名	1日平均入院 患者数算出期間 年 月 日 ～ 年 月 日	
	内 訳	一 般 病 棟	病棟	床		名
		精 神 病 棟	病棟	床		名
		療 養 病 棟	病棟	床		名
		その他 () 病棟	病棟	床		名
特殊疾患療養病棟の届出に係る病棟(再掲)		病棟	床	名		
入院患者数の構成			入 院 患 者 数			
	当該届出に係る病棟①				名	
	脊 髄 損 傷 等 (再掲) ②				名	
	重 度 意 識 障 害 (再掲) ③				名	
	筋ジストロフィー (再掲) ④				名	
	神 経 難 病 (再掲) ⑤				名	
	小 計 (②+③+④+⑤) ⑥				名	
	重 度 肢 体 不 自 由 児 (者) ⑦ *日常生活自立度のランクB以上				名	
	入 院 患 者 の 比 率 (⑥/①又は③+⑦/①)				%	

[記載上の注意]

- 1 *日常生活自立度の判定に当たっては「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」の活用について(平成3年11月18日 厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知 老健第102-2号)を参照すること。
- 2 当該届出に係る病棟ごとに様式3の3を記載し添付すること。
- 3 入院基本料の届出書の写しを添付すること。

緩和ケア病棟入院料の施設基準に係る届出書添付書類

入院患者の状況			1日平均入院患者数		平均数算出期間			
	当該病棟の入院患者総数		名		年 月 日 ~ 年 月 日			
	内訳	末期の悪性腫瘍	名					
後天性免疫不全症候群		名						
医師数	病院全体の医療法標準数		名	従事医師数	名	配置割合	%	
	当該病棟勤務医師数		常勤者数		非常勤者数(常勤換算)		名	
病室の状況			病室数	病床数①	特別の療養環境の提供に係る病室		②/①	
					病室数	病床数②	(%)	
	病院全体		室	床	室	床		
	当該病棟総数		室	床	室	床		
	内訳	個室		室	床	室	床	
		2人室		室	床	室	床	
		3人室		室	床	室	床	
		4人室		室	床	室	床	
5人室以上		室	床					
当該病棟の面積		平方メートル		(1床当たり面積		平方メートル)		
病室部分の面積		平方メートル		(1床当たり面積		平方メートル)		
家族の控え室		平方メートル						
患者専用台所		平方メートル						
面談室		平方メートル						
談話室		平方メートル						

[記載上の注意]

- 1 病室部分の1床当たりの面積は、1床当たり面積が最小の室についての値を記入すること。
- 2 当該病棟及び当該病棟の特別の療養環境の提供に係る病室の状況がわかるものを添付すること。
- 3 当該届出に係る病棟について、様式3の3を記載し添付すること。
- 4 財団法人日本医療機能評価機構等が行う医療機能評価を受けていることが確認できる文書を添付すること。

精神科救急入院料・精神科急性期治療病棟入院料の施設基準に係る届出書添付書類

	新規患者（措置入院患者、鑑定入院患者及び医療観察法入院患者を含む）の延べ入院日数 ②	新規患者（措置入院患者、鑑定入院患者及び医療観察法入院患者を含む）以外の当該病棟患者の延べ入院日数 ③
年 月 ①	日	日
3月前の延べ新規患者数（措置入院患者、鑑定入院患者及び医療観察法入院患者を除く） ⑤		
年 月 ④	名	
上記の患者のうち、3月以内に退院し在宅へ移行した患者数 ⑥		
名		

[記載上の注意]

- ③には、当該病棟患者の延べ入院日数から②の延べ入院日数を引いた日数を記入する。
- ④には、①の3月前の年月を記入する。例えば①が平成8年7月であれば、④は平成8年4月となる。平成8年4月の延べ新規患者数（措置入院患者、鑑定入院患者及び医療観察法入院患者を除く。）を⑤に記入し、そのうち3月以内に退院し在宅へ移行した患者数を⑥に記入する。
- 当該病棟は以下の条件を満たしていることが必要である。

$$\frac{\text{②}}{\text{②}+\text{③}} \geq 0.4 \quad , \quad \frac{\text{⑥}}{\text{⑤}} \geq 0.4$$
- 当該届出に係る病棟について、様式3の3を記載し添付すること。
- 入院基本料の届出書の写しを添付すること。

精神科救急入院料の施設基準に係る届出書添付書類

1 病棟の体制に係る要件

当該病院に常勤する精神保健指定医の氏名及び指定番号（5名以上）	
必要な検査、CT撮影が必要に応じて実施できる体制	有 無

2 実績に係る要件

① 当該病院の精神疾患に係る時間外・休日・深夜の受診患者数		人
② 当該病棟の新規患者数		人
(②の再掲)	③ 措置入院	人
	④ 緊急措置入院	人
	⑤ 医療保護入院	人
	⑥ 応急入院	人
	⑦ 鑑定入院	人
	⑧ 医療観察法入院	人
⑨ 当該病院の所在する都道府県等における措置入院、緊急措置入院及び応急入院に係る新規入院患者数		人
$\frac{\text{③}+\text{④}+\text{⑤}+\text{⑥}+\text{⑦}+\text{⑧}}{\text{②}}$	(a) %	$\frac{\text{③}+\text{④}+\text{⑥}}{\text{⑨}}$ (b) %

[記載上の注意]

- 1 CT撮影につき他の保険医療機関との連携により速やかに実施できる体制が整備されている場合は、有に○をするとともに、当該連携につき確認できる資料を添付すること。
- 2 実績に係る要件の患者数は届出前1年間の患者数を記載すること。
- 3 当該病棟は次の要件を満たしていることが必要である。(a) ≥ 60 % (b) ≥ 25 %
- 4 ⑧については、原則として当該病院の所在する都道府県における患者数を記載するものとするが、県内に複数の圏域がある場合は、当該圏域における患者数を記載するとともに、当該圏域の範囲等がわかる資料を添付すること。

老人一般病棟入院医療管理料の施設基準に係る届出書添付書類

		病棟数	病床数	入院患者数		備考
				届出時	平均数	
病棟・病床・入院患者数	総病棟	病棟	床	名	名	
	一般病棟	病棟	床	名	名	
	療養病棟	病棟	床	名	名	
	結核・精神病棟	病棟	床	名	名	
	包括病床群 (当該届出病棟)	病棟	床	名	名	

[記載上の注意]

- 1 届出病棟には結核病棟及び精神病棟は含まないこと。
- 2 入院患者数の平均数の算出の基礎となった期間を備考欄に記入すること。
- 3 包括病床群を有する一般病棟について、様式3の3を記載し添付すること。
- 4 看護補助者は、包括病床群において患者の看護補助を行う者をいうものであり、主として洗濯、掃除等の業務を行う者は含まないものであること。
- 5 入院基本料の届出を添付すること。

老人性認知症疾患治療病棟入院料1, 2の施設基準に係る届出書添付書類

※ 該当する届出事項を○で囲むこと

		病棟数	病床数	入院患者数		備考
				届出時	平均数	
病棟・病床・入院患者数	総病棟	病棟	床	名	名	
	精神病棟	病棟	床	名	名	
	一般病棟	病棟	床	名	名	
	療養病棟	病棟	床	名	名	
	結核病棟	病棟	床	名	名	
	精神病棟のうち届出病棟(再掲)	病棟	床	名	名	

勤務形態	三交代制 ・ 二交代制 ・ その他
------	-------------------

精神科医師氏名	
---------	--

作業療法士氏名	
---------	--

[記載上の注意]

- 1 入院患者数の平均数の算出の基礎となった期間を備考欄に記入すること。
- 2 当該病棟の入院患者の数(平均数)については、届出時の直近1年間(届出前1年から6月の間に開設又は増床病棟にあつては、直近6月間とする。)の延入院患者を延日数で除して得た数とすること。なお、届出時前6月の間に開設又は増床した病棟については、年間平均病床利用率として、当該病棟の100パーセントをもって入院患者数とすること。
- 3 看護師等の数は、届出時の数とすること。
- 4 看護補助者は、患者の看護補助を行う者をいうものであり、主として洗濯、掃除等の業務を行う者は含まないものであること。
- 5 当該届出に係る病棟について、様式3の3を記載し添付すること。
- 6 勤務形態とは当該病棟の看護要員の勤務形態のことで、該当する形態に○を記入する。
- 7 様式4に定める病棟数等と同じ内容のものについては、入院基本料の届出を添付することで所定箇所記載を省略することができるものであること。
- 8 所定の研修を修了した者については、修了証書の写しを添付すること又はその旨を備考欄に記入すること。
- 9 専用の器械、器具の目録を添付すること。

診療所老人医療管理料の施設基準に係る届出書添付書類

(届出内容)

従事者数		対象病室	室
看護師	人	病床数	A 床
准看護師	人	1人当たりの病床面積	m ²
看護補助者	人	浴室の面積	m ²
合計	B 人	食堂の面積	m ²
比率 A/B		: 1	
機能訓練			
・ベッドサイド等で実施する。		・専用施設で実施する。	

[記載上の注意]

- 1 届出事項に係る専用の施設の面積を記載し、配置図及び平面図を添付すること。
- 2 看護補助者は、患者の看護補助を行う者をいうものであり、主として洗濯、掃除等の業務を行う者は含まないものであること。

看護要員の名簿

	氏 名	勤 務 形 態	勤 務 時 間
看護師 ・ 准看護師			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
看護 補助 者			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間
			時間

[記載上の注意]

- 1 「勤務形態」欄には、常勤、兼務、パート・タイム等の勤務形態を記入すること。
- 2 「勤務時間」欄には、届出診療所に勤務する従事者のうち兼務、パート・タイム等のものについて、当該診療所に勤務する平均時間（1日当たり）を記入すること。

短期滞在手術基本料の施設基準に係る届出書添付書類

当該保険医療機関に勤務する麻酔科標榜医				
氏名	麻酔科標榜許可書		勤務開始日	
	許可年月日	登録番号	年月日	
	年月日		年月日	
自院における緊急対応		可・不可		
(不可の場合、密接に提携している保険医療機関名)				
当該回復室の概要	回復室の面積	病床数	1床当たり床面積	1日平均取扱患者
	平方メートル	床	平方メートル	名
当該回復室の従事者	看護師		日勤 名	準夜勤 名

[記載上の注意]

- 1 当該回復室の従事者及び概要は短期滞在手術基本料1に係る届出の場合のみ記入する。
- 2 当該届出に係る回復室ごとに様式3の3を記載し添付すること。
- 3 入院基本料の届出書の写しを添付すること。(短期滞在手術基本料2の届出の場合に限る。)